

要望書について

今年度の9月28日から11月13日にかけて行った要望アンケートや、意見箱に寄せられた意見をもとに学生自治会は要望書案を作成しました。この要望書は、2015年度後期自治委員会総会で承認され、要望書となりました。学生自治会は、この要望書を大学に提出して学生の要望の実現をはたらきかけていきます。

この項目では、要望書に記載されている内容について簡単に紹介します。また、要望書と要望書資料は、本誌裏表紙に記載している学生自治会のウェブサイトで見ることができます。

○要望項目一覧

1. 学内の情報端末に関する要望

貸し出しノートパソコンの利便性を向上すること。

2. 学生ポータルに関する要望

学生ポータルのスマートフォン用のサイトを作ること。

3. 授業に関する要望

クラス分けされる科目の目標を統一すること。

4. 学費に関する要望

授業料の増額を行わないこと。

要望内容の紹介

1. 学内の情報端末に関する要望

現在、中百舌鳥キャンパス、りんくうキャンパスではノートパソコンの貸し出しが利用できます。ですが、図書館とB2棟という、近い場所に貸し出しパソコンが集中していて遠い教室だと利用しづらい、という意見、要望が寄せられました。

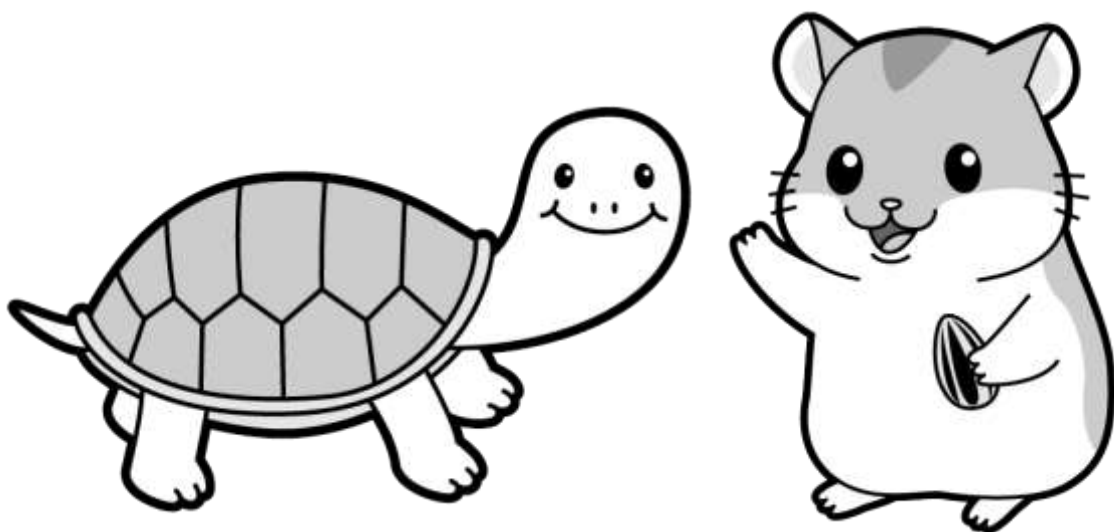
より利用しやすい環境を整えるために、より多くの場所でノートパソコンの貸し出しを行えるようにすることを大学に求めます。

2. 学生ポータルに関する要望

現在、学生ポータルには、パソコン用のサイトしかなく、スマートフォン用のサイトがありません。今回のアンケートでは、学生ポータルをスマートフォンに対応させてほしいという趣旨の要望、意見が寄せられました。

スマートフォンで学生ポータルを利用するとき、誤操作しやすくなる、入力に手間がかかるなど、利用が容易ではない点が多くあります。

そのため、学生ポータルをより利用しやすくなるように、多くの学生が携帯しているスマートフォン用のサイトを作ることを大学に求めます。



3. 授業に関する要望

本学では、学類として科目を履修する場合、人数の都合によってはクラス分けして授業が行われることがあります。しかし、中にはクラスごとに授業の内容が異なる科目があります。今回のアンケートでは、必修科目であるプログラミングの授業において、他のクラスと授業進度が大きく異なっていた、という内容の意見が寄せられました。

また、科目によっては以前に履修した授業の内容をふまえて授業を行う場合があり、クラス間で授業内容が違ったのであれば、いずれかのクラスの進度にあわせて授業を行うことになり、それ以外のクラスで履修した学生にとって科目の理解度や成績評価について影響がある可能性があります。

以上の現状を改善するために、各授業で、授業目標を統一し、授業内容が統一されることを大学に求めます。

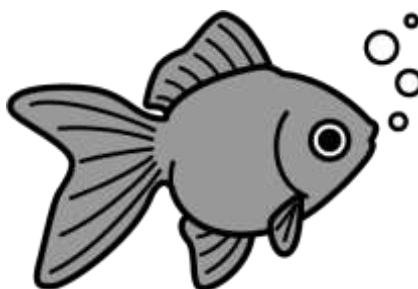
4. 学費に関する要望

本学では、第2期中期計画及び平成27年度計画に、授業料について「国立大学並みの水準を維持する。」と記載されています。一方、財務省の平成27年5月11日の財政制度等審議会で、財務省は国立大学の授業料を一度私立並みに引き上げた後、所得水準の低い家庭の学生を中心に優遇措置を講ずる取り組みを行うという内容の案を提出しました。このことから、国立大学に合わせ本学の授業料も引き上げられる可能性が指摘されます。

今回のアンケートでは、今現在の授業料で大学に通うことが難しいのに、授業料が引き上げられた場合、生活が苦しくなるという趣旨の意見が寄せられました。

授業料の増額は、本学の教育をより充実させるための一つの手段ではありますが、大学の一存のみによって学生の経済的な負担が増えることはあってはなりません。

そこで、授業料を増額しないことを大学に求めます。



アンケートへの協力

ありがとうございました！